

PPEリスクマネジメント

院内感染を防ぐための 個人防護具の正しい着脱方法

院内感染予防のための防護具の正しい着脱方法を再確認していきましょう。

ウィルス、菌などのリスクから身を守りましょう。

- ・ 医療従事者の感染を防ぐ
- ・ 汚染物の曝露に対する保護
- ・ 汚染物の拡散防止
- ・ 不要な防護具は時間・コストのムダ
- ・ 防護具の重要性、知識の再認識
- ・ 感染リスクの知識を深める

PPE (Personal Protective Equipment) = 個人防護具



- ①最適な製品を、 ②用途に合わせて、 ③正しく使う

1 個人防護具の着脱順序

全ての患者や施設利用者

体液、血液、分泌物、排せつ物や粘膜等には感染の可能性がある

手袋、衣服や体幹部の皮膚を守るガウン、空気感染・飛沫感染から守るマスクなど個人防護具にはさまざまな種類があります

1) 着用順番

手指消毒 → エプロン・ガウン → マスク → ゴーグル → 手袋
(フェイスシールド)

2) 脱ぐ順番

手袋 → 手指消毒 → ゴーグル → ▲ → エプロン・ガウン → ▲ → マスク →
(フェイスシールド)

▲ → 手指消毒

(▲ ※汚染がある時は手指消毒)

※最後の着用する物と、最初に外す物は手袋
手袋を外した際には必ず手指の消毒をおこなう

汚染されている恐れのある物同士が接触しないように外す

血液などの液体物や空気感染で汚染される恐れが明らかに高い現場では目を
守るため、

ガウン→エプロン→ゴーグル・フェイスシールド

個人防護具を外す時は病室を出るときに
廃棄した個人防護具が感染源にならないようにする

